

# 三小タイムズ

令和3年1月27日発行 校長 辻 久恵

## 道徳授業（5年3組）

主題名 かかわりあうために

教材名 ブランコ乗りとピエロ

内容項目 B 相互理解、寛容

### 本時のねらい

対立していた二人が歩み寄り、協力してサーカスを成功させていく姿を通して、考えの違う者どうしが関わり合って暮らすためにどんな心が必要かを考えさせ、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、広い心で相手の思いや立場も尊重しようとする判断力や心情を育てる。

### 学習の展開

1 自分の日常生活の似たような場面を思い起こし、課題意識をもつ。

○友達や家族と意見や考えが合わないとき、どんな気持ちですか。

- ・いやな気持ち。
- ・もう遊びたくない。

人と意見が合わないとき、相手をいやにならないためにはどうすればよいだろう。

2 人と意見が合わないときのことを考える。

○人と意見が合わないとき、相手をいやにならないためにはどうすればよいと思いますか。

- ・相手のことを考える。
- ・しょうがない。
- ・他のことをして気持ちを切りかえる。
- ・言い合って、あやまる。

3 「ブランコのりとピエロ」を読んで話し合う。

○サムとピエロがすれ違ったとき、一瞬ピエロは立ち止まりかけました。そのとき、ピエロはどんなことを考えていたのでしょうか。

- ・どうしたんだろう。 ・顔が真っ青だ。
- ・息をする間もなく回っていたからだ。
- ・怒ろうか迷った。 ・自分も目立ちたかった。
- ・ブランコの演技がすごかった。

○ピエロがサムを憎む気持ちが消えたのはなぜでしょう。

- ・サムが頑張っていて、すごいなと認めたから。
- ・自分に目立ちたいという気持ちがあったけどお客さんをを楽しませたいという気持ちに変わったから。

○人と意見が合わないとき、相手をいやにならないためにはどうすればよいかもう一度考えましょう。

- ・相手の気持ちを認め合う。 ・相手のいいところを見つける。 ・聞き合う
- ・自分の意見も大切だけれども、相手の意見も理解して受け入れる。

4 まとめ

- ・教師の説話を聞く。

